

## 【会議録】第59回筑紫野市コミュニティ連絡会

《日時》 令和2年6月3日（水） 13時50分～16時00分

《場所》 二日市東コミュニティセンター 2階 学習室1

《参加者》 各コミュニティ運営協議会 会長7人

### 《次第》

#### 1. 高齢者支援課より

##### 「敬老の日事業の取り扱いについて」

本年度の敬老の日事業について、各コミュニティの自治会長会に高齢者支援課が出席し、説明を行うこととした。

##### 「地域包括ケアシステムの推進について」

令和2年度の取り組みとして、各地域で高齢者の見守り・生活支援体制づくりを目指すとともに、地域包括ケアシステム学習会を拡充していくことが提案され、了承した。

##### 「筑紫南版社会資源情報誌について」

筑紫南版社会資源情報誌「ちくなんライフガイド」が完成したことについて報告を行った。

#### 2. 社会福祉協議会より「福祉委員について」

小地域活動福祉推進費（福祉委員を設置している行政区に対する助成）の申請書類等について、区長（自治会長）へ郵送することとした。

#### 3. 会長あいさつ

#### 4. 情報交換

以下の項目について、情報交換を行った。

- (1) コミュニティセンターの利用について
- (2) 令和2年度各コミュニティ運営協議会活動（テーマ別）
- (3) 新型コロナウイルス感染症について

○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本年度の事業は全て中止すべきとの意見もあるが、今だからこそできること、今だからこそ必要なことを考えていく必要があるのではないか。

○各コミュニティの事業について、どのような工夫をすれば実施できるかの視点の一元、新しい生活様式に則した事業となるように、事業の見直しを検討していく。

○7コミュニティに共通する大規模な事業については、時期を見て検討する。

## 5. 協議事項：持続可能な体制づくりについて

令和3年度以降の自治会連絡費に必要と考えられる金額についての確認を行った。

## 6. 事務連絡

事務局より、以下のとおり事務連絡を行った。

- (1) 第二次筑紫野市地域コミュニティ基本計画の策定を行ったので、概要版を各コミュニティ運営協議会へ配布することとした。事務局員、部会長等を対象とするので、必要部数について確認し、事務局に報告を行うこととした。
- (2) 市民活動災害補償保険について、各コミュニティの会議での周知を依頼した。
- (3) コミュニティ連絡会の運営上のルールについて、各コミュニティの事務局に送付することとした。
- (4) コミュニティ連絡会負担金について、事務局から請求書を各コミュニティ運営協議会へ送付を行うことを報告した。7月連絡会に持参することとした。
- (5) 現在、充て職となっている、青少年育成市民会議副会長の後任について、輪番により、筑紫よかまち協議会より吉村事務局長を推薦することとした。

## 7. 次回の会議

### ◆コミュニティ連絡会

- (1) 日 時／ 令和2年7月1日(水) 13時30分～15時00分
- (2) 場 所／ 二日市東コミュニティセンター 2階 学習室1
- (3) 出席者／ 各コミュニティ運営協議会 会長7人